

果樹情報 第4号 (R7. 4. 23~R7. 5. 20)

県中農林事務所須賀川農業普及所・JA 夢みなみ(すかがわ岩瀬地区、あぶくま石川地区)

1 生育状況

もも「あかつき」は平年より2日早く、なし「幸水」は平年並み、「豊水」は1日早く、りんご「ふじ」(須賀川)は4日早く、「ジョナゴールド」は4日早く開花が確認されました。

また、もも「あかつき」は平年より2日早く、なし「幸水」は4日早く、「豊水」も2日早く満開が確認されました。

表1 生育状況(須賀川農業普及所管内 4月22日現在)

	開花始			開花盛		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
あかつき(須賀川)	4月11日	4月13日	4月7日	4月17日	4月19日	4月14日
幸水(須賀川)	4月21日	4月21日	4月15日	4月22日	4月26日	4月19日
豊水(須賀川)	4月17日	4月18日	4月13日	4月21日	4月23日	4月16日
つがる(石川)	未	4月27日	4月20日	未	5月1日	4月25日
ジョナゴールド(石川)	4月21日	4月25日	4月19日	未	4月30日	4月24日
シナノスイート(石川)	未	4月22日	4月20日	未	4月27日	4月26日
ふじ(石川)	未	4月27日	4月21日	未	5月1日	4月25日
ふじ(鏡石)	未	4月26日	4月21日	未	4月30日	4月25日
ふじ(須賀川)	4月22日	4月26日	4月19日	未	4月30日	4月25日

※平年は1995年～2024年の平均

2 開花状況(福島県農業総合センター果樹研究所 令和7年4月21日現在)

果樹研究所では、もも「あかつき」の開花盛は4月15日で平年より4日早く、なし「幸水」は4月20日で平年より5日早く、りんご「ふじ」は4月20日で平年より6日早くなりました(表2)。

表2 各樹種(品種)の開花状況(観測地点:果樹研究所内、4月21日現在)

樹種	品種	開花始観測日			開花盛観測日		
		本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
もも	あかつき	4月9日	4月13日	4月6日	4月15日	4月19日	4月11日
	ゆうぞら	4月10日	4月14日	4月6日	4月16日	4月20日	4月11日
なし	幸水	4月17日	4月20日	4月14日	4月20日	4月25日	4月17日
	豊水	4月14日	4月16日	4月11日	4月18日	4月22日	4月15日
りんご	つがる	4月21日	4月25日	4月16日	未	4月30日	4月23日
	ふじ	4月20日	4月26日	4月15日	未	4月30日	4月22日
アウトウ	佐藤錦	4月16日	4月18日	4月15日	4月21日	4月25日	4月18日

※東北地方1か月予報

(仙台管区気象台 令和7年4月17日発表)によると、今後の平均気温は1週目(4/19~4/25)、2週目(4/26~5/2)ともに平年より高く推移すると予測されています。

3 防霜対策

開花期から幼果期にかけては、耐凍性が最も低下し凍霜害の危険性が高くなります。気象情報に十分注意し、防霜対策を徹底しましょう。各樹種での生育は平年より1週間程度早まっていますが、生育ステージごとの安全限界温度(表3)を下回る温度に遭遇するおそれがある場合には速やかに防霜対策を実施して下さい。なお、降霜による被害が見られた場合は、被害状況を確認の上、人工受粉を徹底するとともに、結実や生理落果が明らかになるまで摘果を遅らせ、結実確保に努めましょう。

【栽培上の主な対策】

(1)傾斜地の対策: 傾斜の下に防風ネット等がある場合は、冷気を溜めないようネットの下を巻き上げておきましょう。また、冷気の流れ込む場所にネット等の遮へい物を設置することも有効です。

(2)下草の管理: 下草は常に低く刈り込むとともに、マルチは凍霜害の危険期を過ぎてから行うようにしてください。

(3)乾燥防止: 空気や土壌が乾燥していると気温の低下を助長するので、乾燥が続いている場合は適宜かん水を実施し、土壌水分を保持しましょう。

4 病虫害防除上の留意点**(1)りんご褐斑病**

果樹研究所における本病の子のう胞子の飛散は確認されていませんが、開花期に感染する場合もあることから、例年本病の発生が多い場合は、開花直前から防除を徹底しましょう。

(2)なし黒星病

開花期間はいずれの品種も本病に対する感受性が高いため降雨前防除を徹底し、落花直後に効果の高い農薬を十分量散布しましょう。

また、本病が花そう基部に発病している場合は、中・長果枝の花芽のりん片が脱落せずに付着しているため、見つけ次第除去して適切に処分しましょう。

(3)もも灰星病

花腐れは果実への伝染源になるため、早めに摘除して処分しましょう。

(4)ももせん孔細菌病

ももせん孔細菌病は薬剤防除だけでは発生を抑えるのが難しいため、春型枝病斑を徹底してせん除する等の耕種的防除と薬剤防除を組み合わせ、総合的な防除対策を実施しましょう。

なお、5月にまとまった降雨がある場合、果実に感染する可能性があるため注意が必要です。

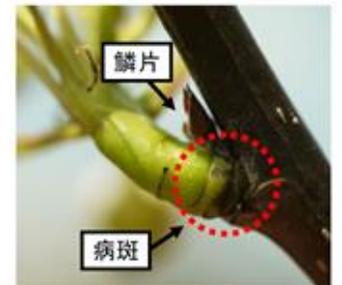


図1 ナシ黒星病の芽基部病斑

ア 耕種的防除

・春型枝病斑は新梢葉や果実への伝染源となるため、疑わしい枝も含め徹底してせん除してください。

・春型枝病斑の発生は長期間にわたるため、せん除は定期的に複数回実施してください。

- ・春型枝病斑をせん除する場合、発病部位が残らないよう病斑部周辺を含めて可能な限り基部まで切り戻してください。
- ・樹冠上部の発病枝の取り残しは直下の被害拡大につながるため、**樹冠上部の発生を見逃さないように**しましょう。
- ・今後、発病葉や発病果実が見つかった場合、枝病斑とともに除去し、園外に持ち出すなど適切に処分してください。

イ 薬剤防除

地域の防除暦に従って、落花期から7月まで10日間隔で薬剤散布を行ってください。その際は、薬剤の使用濃度、収穫前日数に十分注意してください。また、同一薬剤の連用は耐性菌の出現のリスクが高まるので、連用せずに薬剤のローテーションにより防除を行ってください。

また、落花10日後の防除を忘れず行うようにしましょう。

(5)モモハモグリガ

越冬世代成虫の誘殺盛期は今後の気温が平年より2℃高く推移した場合、4月4半旬頃と予想され、第1世代幼虫の防除適期は4月5半旬頃と推定されています(表3)。落花10日後頃を目安に防除を実施しましょう。

(6)ハマキムシ類

リンゴモンハマキの越冬世代誘殺盛期は、今後の気温が2℃高く推移した場合、5月3半旬頃と予測され、第1世代幼虫の防除適期は5月5半旬頃と推定されています(表3)。リンゴコカクモンハマキもリンゴモンハマキに準じるものと考えられます。例年本種の発生が多かった園や、花や新葉に食害が見られる園では、リンゴでは落花直後、ナシでは落花1週間後に本種に登録のある農薬を使用しましょう。

また、複合交信かく乱剤はハマキムシ類の越冬世代成虫発生初期に設置することが有効であるため、遅れないように設置するようにしましょう。

(7)リンゴハダニ

リンゴハダニ越冬卵のふ化盛期は、今後の気温が平年より2℃高く推移した場合、4月4半旬頃と予想されます(表3)。越冬卵密度の高い園では、落花以降の発生密度に注意し、要防除水準(1葉当たり雌成虫1頭以上)に達したら防除を実施しましょう。

表3 果樹研究所における防除時期の推定(令和7年4月18日現在)

今後の気温予測	モモハモグリガ		リンゴモンハマキ		リンゴハダニ
	越冬世代誘殺盛期	第1世代防除適期	越冬世代誘殺盛期	第1世代防除適期	越冬卵ふ化盛期
2℃高い	4月16日	4月23日	5月11日	5月25日	4月20日
平年並	4月16日	4月25日	5月18日	6月2日	4月21日
2℃低い	4月16日	4月26日	5月25日	6月10日	4月21日

起算日:3月1日(演算方法は三角法)

(8)カメムシ類

越冬世代成虫による加害は幼果期から始まる場合があるので、特に山沿いの園地ではカメムシ類の飛来状況をよく観察し、多数の飛来が見られる場合は速やかに防除を行いましょ。

表4 生育ステージと安全限界温度

もも「あかつき」

発育ステージ	発芽期	花蕾赤色期	花弁露出始期	花弁露出期	開花直前	開花始期	満開期 ~ 開花終期	落花期	幼果期	
安全限界温度(℃)	-	-2.6	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-2.5	-	-2.1	-2.1

なし「幸水」

発育ステージ	発芽期	花蕾露出期	花弁露出始期	花弁白色期	開花直前	開花始期	満開期	落花期	幼果期
安全限界温度(℃)	-3.6	-2.9	-2.5	-1.8	-1.8	-	-1.3	-	-1.3

りんご「ふじ」

発育ステージ	発芽期	展葉初期	花蕾露出期	花蕾着色 ~ 開花直前(赤色期)	開花始期	満開期	落花期	幼果期	
安全限界温度(℃)	-2.1	-2.1	-2.1	-2.0	-	-1.5	-1.5	-1.7	-

おうとう「佐藤錦」

発育ステージ	発芽期	花蕾露出期	花弁露出期	開花直前 ~ 開花始期	満開期	開花終期	幼果期
安全限界温度(℃)	-3.0	-1.6	-1.5	-1.7	-1.7	-1.7	-1.1

ぶどう「巨峰」

発育ステージ	発芽期	一葉期	二葉期	三葉期	四葉期
安全限界温度(℃)	-4.6	-2.0	-2.0	-2.0	-1.8

かき「平核無」

発育ステージ	発芽期~展葉期	新梢伸長期
安全限界温度(℃)	-4.0	-2.8

作成者: 県中農林事務所須賀川農業普及所
電話: 0248-75-2181 FAX: 0248-72-8331

ご不明の点は、最寄りのJAまたは須賀川農業普及所にお問い合わせください。次回の発行予定日は、5月21日(水)です。